

平成24年度 流域モニタリング一斉調査

調査河川： 白子川

調査場所： 国道151号線上流約200m位置 本宮橋下流

調査日時： 6月21日(木)AM10:30 ~ 12:00

調査報告書

調査主催者 新城市環境部環境課

調査団体 飛煙社

西尾 幸男

服部 光勇

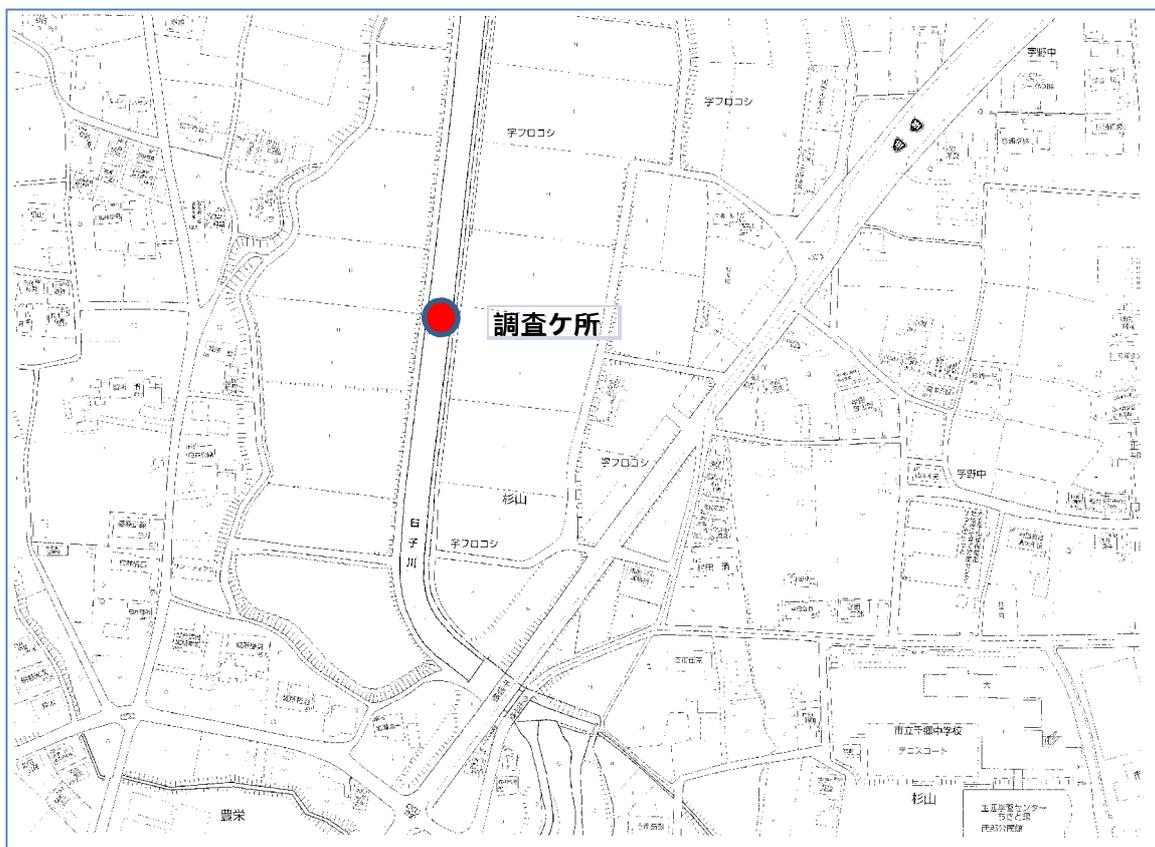
1.モニタリング調査参加について、

去年この臼子川を調査したことで、知らない川から親しみを感じる様になった事は、モニタリング調査の目的である川の変化や環境・水の循環について知る良い機会です。学校側にも積極的に参加を促したらと思える。

水田地帯であるこの区域は、農業用水・排水にとって重要な河川であり下流は、野田川と合流し豊川へとつながる水の循環に対し大切な川となっている。

2.調査箇所、

新城市野田字新広表 地区



3.水のきれいさ(平均 4.0点)について、

水のおい、水に浮いた油や泡については評価は5である。水の色・においの評価については、工事によるにごりがわずかに見られたため評価4とした。

水の底の感触についても同じで、堆積土砂が見られても流速は以外と有り、その流れにより、川底に土砂が滞まらず砂系のためヌメリ感が少ない。

水の外観はきれいに見えるが、CODパックテストでは8mg/L前後でありそのため評価は2とした。

4.水の量(平均 3.3点)について、

流量河川断面 $A= 0.93\text{m}^2$

水面幅 $B= 2.9\text{m}$

流 速 $V= 0.57\text{m/S}$

流 量 $Q= 0.53\text{m}^3/\text{S}$

川幅のわりに土砂流入による影響で、河床幅が狭まっていてそれが流速を速めていると考える。また、その土砂により川の中で結構ワンドが出来、魚の住処らしきが出来つつある。

わき水については付近に形跡がない、よって評価できず。

5.生態系(平均 3.2点)について、

生態系の様子として、カワムツ・ヨシノボリ・シマドジョウウ・モエビ等は結構生息している。今回の調査ではメダカ・ツチガエルの確認は出来なかった。地元の人に聞くと、この川には稀に「もくず蟹」がいるとのこと。

外来種ではアメリカザリガニの生息と砂地にはミミズの生息が確認できた。

その他、石の下に棲む水生生物について、土砂の流入・堆積もあり生息の確認ができななかった。

6.水辺のようす(平均 2.7.点)について、

ゴミは、少々みられる程度で気になる程ではない。

水の透視度調査では70cmで線が見えにくくなる。工事土砂の流入は去年より減っていて濁りが少なくなっている。よって、評価4とした。

ブロック立護岸だが、所々に階段があり、評価を3とした。

水辺の利用・自然度・景観について、この調査地点は水田地帯で家屋から離れ人影も見られなかった。人工的な水辺で、葦等の植物も生えているが、川で遊んだり、景色を楽しむには少々難があると思われる。

この日は、天候が悪かったので日を変えて地元で聞いてみたところ、上流部だけ草を刈り環境保全活動をしている人がいたり、散歩する人や、課外授業なのか小学生が歩いているのを見るところ。

ただ、堤防道路を歩くのは見るが、環境学習的な活動は見たことはない
とヒアリングで判明した。

調査票

調査票を提出する際には、調査地点のわかる地図を添付してください。

グループ名	飛煙社	調査日時	24年6月2日(木) ^{午前} 10時30分		
名前	西尾 敬介	調査場所	白子川	川の幅 2.9 m	
		参加人数	2人	天気	

水のきれいさ

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	安全できれいな水 ←————→ 利用しにくい水						
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	4点	平均 4.0点
2.水のにごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてみにごっている	4点	
3.水におい	においを感じない	中間	いやなおいを少し感じる	中間	いやなおいを強く感じる	5点	
4.水に浮いた油や泡	泡はない 油のまくはない	中間	泡が少しある 油のまくが少しある	中間	泡が多い 油のまくが多い	5点	
5.水の底の感じ	心地よい	中間	ちょっとヌルヌルしている	中間	ヌルヌルして気持ちわるい	4点	
6.CODバックテスト調査 mg/l	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/lをこえる	2点	

水の量

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	十分な流れがある ←————→ 流れがある ←————→ 流れがほとんどない						
1.流れのはやさ	水面に波があるような流れがある	中間	水面は波がないがはっきり流れているとわかる	中間	流れがほとんどない	4点	平均 3.3点
2.流れの変化	瀬・淵・ワンドなど多様な流れがある	中間	流れに変化がある	中間	流れに変化がない	2点	
3.わき水のようす ※1	以前と変わらない水量のわき水(湧水)がある	中間	少ないけどわき水(湧水)がある	中間	わき水(湧水)がなくなった	3点	
4.川の深さ cm	60cm以上	40cm~60cm	20cm~40cm	10cm~20cm	10cm未満	3点	
5.川の流れの速さ cm/秒	60cm/秒以上	40cm/秒~60cm/秒	20cm/秒~40cm/秒	10cm/秒~20cm/秒	10cm/秒未満	4点	

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。

地元の人口増と、この川は砂利系で工事により砂利系が入ってきた

注) 水の量の評点は、河川の源流域、河口部などや、湖沼、ため池、海では使用しない。
 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。

※1: 湧水が過去に確認されている場合のみ使用。

ド口は昔からあったが水量が増加。

川ドジョウも居るとのこと。又、砂の中には無カニ(10cm位)もいるのでは、

せいいたいけい
生態系

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊かな水環境 ← 生物がいる水環境 → 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに見かける	中間	魚がいない	4点	平均 3.2点
2.水ぎわの植物	いろいろな植物が多くはえている	中間	植物がはえている	中間	植物はない	3点	
3.周辺の植物	木が多くはえている	中間	緑がある	中間	緑はない	3点	
4.周辺の生き物	いろいろな種類の生き物がある	中間	たまに生き物を見る	中間	生き物はない	3点	
5.外来種	いない	少ない	やや多い	多い	外来種しかない	4点	
6.水質 (生き物による水の きれいさの階級)	I	II	III	IV	何もいない	2点	

みすべ
水辺のようす

調査項目	調査項目ごとの評点					評点	平均点	
	5	4	3	2	1			
	快適な水辺(積極的に活用したい水) ← 水辺を活用できる程度 → 不快な水辺							
1.ごみ	ごみがない	中間	ごみがところどころある	中間	ごみが多い	4点	平均 2.7点	
2.水辺の利用	水のまわりや中で遊びたい	中間	ながめたりさんぼをしたい	中間	近づきたくない	2点		
3.水辺への 近づきやすさ ※2	どこからでも水辺に近づける	中間	水辺に近づけるところがある	中間	近づけない	3点		
4.水辺の自然度 ※3	緑が多く自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	2点		
5.水辺の景観 けいかん	全体が調和していてここがよい	中間	調和していないところもある	中間	まわりの風景とうまく調和していない	2点		
ヒアリング調査	6.散歩・レジャー さんぽ	多くの人に毎日のように利用されている	中間	ときどき利用されている	中間	利用されていない		3点
	7.環境学習 かんきょうがくしゅう	多くの人に利用されている	中間	ときどき利用されている	中間	利用されていない		2点
	8.環境保全活動 かんきょうぼぜんかつどう	多くの人活動している	中間	ときどき活動している人がいる	中間	活動している人がいない		3点
9.透視度 とうしど	70 cm 80cm以上	60cm~80cm	40cm~60cm	20cm~40cm	20cm以下	4点		

選択項目数
※特に重要と考える調査項目を選択

選択項目点数
点

備考 ※気づいたことがあれば、記入してください。
散歩・遠足・堤防道路を利
用している事もある。

注) 評点の判断基準にある「中間」は、その前後で判断に迷う場合に採用し、その評点を記入する。
※2、※3: 相反する評価となる可能性がある。 環境関係については、好きな人がいて

調査票に関するお問い合わせはお住まいの市町村環境保全担当課窓口、または協議会事務局まで ◎事務局: 愛知県環境部水地盤環境課 ☎052-954-6220 (ダイヤルイン)

たまに草等を刈っている



白子川

6月21日

下流より

P6210042



流量観測

P6210043



流量観測

P6210041



白子川

6月21日

CODパッケテスト

P6210049



カワムツ

ヨシノボリ

ドジョウ

スジエビ(モエビ)

P6210045



アメリカザリガニ

P6210046

白子川

